

鷹の目の狩人

XXII

大坂冬の陣 真田太平記の世界

しろはく古地図と城の博物館富原文庫
代表 富原 道晴

NHK 大河ドラマに真田幸村、大坂城真田丸が決定したと聞いたのが、確か今年5月で、その前に上田市真田氏歴史館での、大坂冬の陣展の展示依頼をされていた。大坂冬の陣から四百年を記念して開催企画され、「真田氏歴史館夏の企画展大坂冬の陣 古地図、布陣図に見る大坂城周辺と真田丸の今昔」として、大坂冬の陣合戦図12枚、合戦錦絵4組12枚、明治の内務省地理局の実測図6枚の内2枚が展示された。7月19日～9月1日まで、本誌に掲載される頃には既に終了しているが、時まさに絶妙で、多くの方に来場いただき、好評をいただいた。来年、大河ドラマに合わせて出版を企画されている出版社からも展示資料の掲載依頼をいただき、関連原稿を依頼されている研究者仲間からも見学報告や絵図の問い合わせを多くいただいている。

実は、上田の真田展は今回で3回目である。1回目は1998年、上田市商工会議所の依頼で、会議所5階の大ホール、戸石合戦で有名な戸石城をパノラマのようにみられる雄

大な会場であった。この展示会は「池波正太郎真田太平記館開館記念 真田太平記の舞台 戦国時代の城と合戦絵図展」として、武田支配下の真田幸隆、昌幸を描き、大坂冬の陣にお

ける幸村の戦いを130点の絵図と錦絵で再現した。安土城絵図、巨大な長篠合戦絵図等、展示資料を初公開し、富原文庫設立の契機となった。2週間で1,300人の来場をいた

だし、多くの新聞にも紹介いただいた。

2回目は昨年、会津若松城下絵図屏風展開催中に、資料の貸し出しのみというお話で了解いただき、「真田家の遺したもの 真田家の城郭とその戦歴」展が真田氏歴史館の夏の企画展として開催された。期間は今回と同様約ひと月半であるが7,000人余りの来場をいただいた。初めて公開した戸石城の前田家の調査絵図や、多くの戸石城絵図、戸石合戦の錦絵、長篠城と設楽が原の戦いの巨大な絵図、長篠大戦之図という鮮やかな錦絵、そこには昌幸の兄、真田兄弟も描かれていた。上田合戦や冬の陣絵図もテーマとして取り上げた。

真田の知名度、熱意、1回目の展示は商工会議所メンバーにボランティアで協力いただいた。2回目の展示は会場の展示ケースが立派すぎて、展示物が読めないという意見があり、今回は展示ケースの中間に絵図を展示し、文字が読めるように工夫していただいた。展示会視察後、ゆきむら夢工房、上田市立博物館、池波正太郎真田太平記館、上田城跡を訪ずれたが、どこも人であふれていた。六文銭の真紅の旗印、判官びいきと言えば、その通りだが、徳川幕府施政以降今日まで、徳川家康に二度の上田合戦で勝利し、大坂の役でも活躍した真田幸村人気は日本人の血を湧き立たせるものがある。

川中島の戦いの舞台となった海津城も松代城となり、近年、整備され、随分きれいになった。隣には、松代藩真田家の真田宝物館があり、真田家伝来の絵図、調度品等が驚くほど多く残されている。あれほどの戦いをしながら、家を残した真田家の戦略、企業家として、事業継続に参考になりませんか。

大河ドラマが始まるころには人であふれ、大変なことになっていると思うが、近くには旧軽井沢、小諸城跡、長野の善光寺地下回廊、浅間山鬼押し出し、草津温泉等名所も豊富、日本人の心ふるさと、上田市真田郷にぜひお出かけを。



上田市立真田氏歴史館展示ポスター



真田氏歴史館大坂冬の陣展展示風景



上田商工会議所
展示会記念図録



上田商工会議所展示ポスター

CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH CONVERTECH